

十二月十一日にアグピアホールで、令和三年度阿久比町社会福祉大会が開催されました。式典では、阿久比町の福祉に尽力された方々の表彰と愛知県共同募金会作品コンクール入賞者の伝達表彰を行いました。

講演では、社会福祉協議会の役員・評議員を対象に、日本福祉大学地域ケア研究推進センター客員研究所員の岡本一美様に、地域づくりと「地域共生社会」の演題でお話いただきました。



社会福祉協議会功労者表彰
政井 宏之 様



社会福祉協議会会長感謝
阿久比町グラウンドゴルフ協会 様



優良児童生徒表彰
阿久比中3年 青木 夕蘭 様



赤い羽根協賛作品コンクール入賞
英比小5年 馬田 絆在 様

主な内容

- 会長年頭あいさつ
- 表彰おめでとう
- 赤い羽根共同募金
- 社会福祉協議会活動状況
- 生活福祉資金貸付制度のご案内
- 大人のひきこもり家族教室のご案内
- あぐいグイグイネット
- スポットあぐい
- 善意をありがとう
- パートヘルパーさん募集



新春を迎えて

コロナのあとの地域共生社会



会長 大村泰敬

新年明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新しい年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。と申しましたもコロナ禍で少し違った新年をお迎えになられたのではないのでしょうか。旧年中は社会福祉協議会の事業や活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

昨年もコロナ、コロナで大変な一年でした。新型コロナウイルスが全世界に猛威を振るいました。国内でも感染者が蔓延し八月にピークを迎え一日で二万五千人を超える日もありました。その後ワクチンの接種が大幅に増え十月に入り感染者も減少してきました。

わたしたちの生活や社会活動にも随分影響が出ました。新型コロナウイルス感染拡大で休業等により収入減少があり生活維持にあたり必要とする世帯に「緊急小口資金」と「総合支援資金」の貸付が行われ、社会福祉協議会の職員が相談支援と貸付業務にあたりましたが、貸付だけでは解決できないことも多く地域福祉相談支援事業で

地域の様々な福祉ニーズが浮き彫りになってきました。

社会福祉協議会では町から委託を受けて生活支援コーディネーターを配置しています。生活支援体制整備事業の一環としてコロナのあとの地域共生社会実現に向けて「地域の支え合い講座」を開催しました。

「地域みんなが「つながり」、地域みんなが「支え合う」、そんな街づくりを推進します。コロナで中止していましたがサロンの相談を受け阿久比町の皆さんが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためのお手伝いをさせていただきます。

コロナで希薄になった地域の関係や地域住民で支え合うことがいかに大切か、いまいちど問いただし、「地域共生社会実現」を目指していきたいと思っています。阿久比町地域福祉計画の基本理念は、**すべての人が地域で共に生き、支え合う「つながる」まち、あぐい**です。阿久比町と社会福祉協議会が合同で進めています。

今年にはコロナ第六波が来ないようお互いが十分注意して、基本的な対策もしっかりとりコロナに感染しないよう心がけましょう。

今年も大変な一年になると思いますが、きっと明るいいい年になると思います。皆様の温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

表彰おめでとう

十二月十一日(土)、アグピアホールで阿久比町社会福祉大会が開催され、表彰式と講演会を行い、次の方が表彰されました。

社会福祉協議会会長表彰

役員・評議員十年以上

政井 宏之 理事
小戎 吉幸 評議員

優良児童生徒

岩崎 友希 東部小六年
牧山 心美 英比小六年
都築 謙心 草木小六年
神谷 郁努 南部小六年
青木 夕蘭 阿久比中三年

社会福祉協議会会長感謝

福祉基金高額寄付

ユニー(株)アピタ阿久比店
ユニー(株)ピアゴ阿久比北店
半田遊技業組合
阿久比町グラウンドゴルフ協会

県共同募金会伝達表彰

第七三回赤い羽根協賛児童生徒作品入賞

神谷 英奈 東部小二年
岡戸梨緒奈 東部小六年
馬田 絆在 英比小五年
常盤 咲乃 英比小三年
大岩 美悠 草木小五年
小林 太晴 阿久比中一年

(順不同 敬称略)

赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました

中間実績額 **4,069,588円**

戸別募金 **3,260,945円**

法人募金 **619,500円**

職域募金 **120,089円**

学校募金 **58,605円**

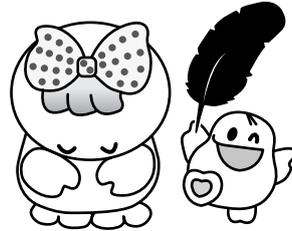
その他 **10,449円**

合計 **4,069,588円**

赤い羽根共同募金は、10月1日から3月31日までの6か月間の運動期間を通じ募金運動を展開しています。今回は中間結果をご報告します。ご協力いただきました皆様には、心よりお礼申し上げます。この募金は、社会福祉協議会の貴重な財源として活用させていただきます。

なお、ご尽力いただきました行政協力員、民生児童委員、社会福祉関係者の方々にも合わせてお礼申し上げます。

3月まで引続き募金運動にご協力をお願い申し上げます。



第73回 「赤い羽根」児童・生徒の作品コンクール

銀賞

金賞



草木小5年 大岩美悠

入賞者発表

共同募金運動の一環として、児童、生徒を対象の作品コンクールに、1,160点の応募をいただきました。

お礼を申し上げるとともに、審査結果をご報告させていただきます。



英比小5年 馬田絆在

【ポスターの部】		【書道の部】	
愛知県共同募金会賞		愛知県共同募金会賞	
金賞	馬田 絆在 英比小5	銀賞	大岩 美悠 草木小5
佳作	神谷 英奈 東部小2	佳作	常盤 咲乃 英比小3
共同募金会阿久比町分会賞	岡戸梨緒奈 東部小6	共同募金会阿久比町分会賞	小林 太晴 阿中1
入選	上田怜央真 英比小5	入選	田中 希 東部小4
〃	都築 芹奈 草木小3	〃	上田 夏綺 東部小6
〃	山下理央奈 草木小5	〃	伊藤 玲奈 英比小6
〃	道家 結菜 南部小2	〃	高橋 絢音 草木小4
〃	平井 拓幹 南部小4	〃	榊原結里子 南部小5
〃	松村 美璃 阿中1	〃	菅原 奏人 南部小6
〃	武下 葉音 阿中1	〃	河村 菜那 阿中2
(順不同)	敬称略		

福祉協議会の活動状況

ひとり親家庭、子育て中の生活困窮家庭にお米の配布を行いました

10月9日(出)、阿久比町保健センターロータリー前で、フードバンク愛知より提供されたお米を、ひとり親家庭や子育て中の生活困窮世帯を対象に、18歳以下のお子さん1人につき3キロの白米を配布しました。また、新型コロナウイルスの影響で収入が減収し生活資金でお困りの世帯向けの新型コロナウイルス特例貸付事業の紹介も行いました。



福祉実践教室が開催されました

10月15日(金) 英比小学校、10月26日(火) 南部小学校、11月12日(金) 草木小学校で福祉実践教室が開催され、英比小学校は4年生82人、南部小学校は4年生57人、草木小学校は4年生49人が参加し、障がいのある方、ボランティア、町地域包括支援センター職員を講師に、手話、認知症、車いすの体験学習を通して、障がいがあってもなくても「共に生きる」ことの大切さを学びました。(手話講師はコロナウイルス感染予防のマウスシールド着用)



英比小学校



南部小学校



草木小学校

防災リーダー及び災害ボランティアコーディネーター養成講座が開催されました

11月6日(出) 阿久比町勤労福祉センターで、防災の基礎知識を身につけ地域の防災活動を進める、防災リーダー及び災害ボランティアコーディネーター養成講座が開催され、12人が参加しました。

午前は名古屋大学減災連携研究センターの千葉啓広氏より防災基本論の説明、午後は防災ボランティアあぐいが講師で、地域の防災対策を検討する「災害図上訓練 (DIG)」を体験しました。



地域の福祉に役立てて！ JA あいち知多

11月30日(火)、JAあいち知多の稲葉清仁阿久比地域担当理事代表が町社会福祉協議会を訪れ、地域の福祉に役立ててと知多米「あいちのかおり」125kgのお米券を寄贈されました。JAあいち知多では、社会貢献活動の一環として転居等で脱退した組合員が返却したポイントカードに残ったポイント相当分の金額を集め、知多半島産の米「知多米」として半島内の社会福祉協議会へ寄贈しています。町社会福祉協議会は、寄贈されたお米券を、コロナウイルスの影響で失業したり収入が減収して食事に困るなど生活困窮者の方への食糧支援に活用させていただきます。



いきいきクラブ連合会グラウンドゴルフ大会を開催しました

12月1日(火) 阿久比スポーツ村野球場で、いきいきクラブ連合会主催のグラウンドゴルフ大会が開催され、152人が参加し日頃の練習で鍛えた実力を発揮し、熱戦を繰り広げました。

- ◎優勝 赤ゾーン 男子 新美 晃 女子 佐藤 富子
- ◎優勝 青ゾーン 男子 早田 昭三 女子 新美ふじ子 (敬称略)



生活福祉資金貸付（コロナ特例貸付）制度のご案内

愛知県社会福祉協議会では、各市町社会福祉協議会を窓口にして生活福祉資金の貸付事業を実施しています。また、令和2年2月より新型コロナウイルス感染拡大の影響で減収や離職をされた世帯への特例貸付も実施しています。（令和3年11月末で終了する予定でしたが、令和4年3月末まで貸付期間が延長されました。）

生活にお困りの際は、一度阿久比町社会福祉協議会にご相談ください。

緊急小口資金（コロナ特例貸付）

- 対象者／新型コロナウイルスの影響により収入の減収があったり、仕事をやめられた世帯
- 貸付上限額／20万円以内
- 据置期間／1年以内 ※返済のスタートは1年後から
- 償還期限／2年 ※24回払い（1ヵ月8,400円程度）
- 貸付利子・保証人／無利子・保証人は不要です。

総合支援資金（コロナ特例貸付）

- 対象者／新型コロナウイルスの影響により収入の減収があったり、仕事をやめられた世帯
- 貸付上限額／1人世帯：15万円以内×3ヵ月、2人世帯以上：20万円以内×3ヵ月
- 据置期間／1年以内 ※返済のスタートは1年後から
- 償還期限／10年 ※120回払い（60万円の場合1ヵ月5,000円程度）
- 貸付利子・保証人／無利子・保証人は不要です。

※他にも、高等学校、大学または高等専門学校に就学及び入学に必要な経費を貸付する「教育支援資金」などの相談も受付けています。お気軽にご相談ください。

第2次阿久比町地域福祉計画推進事業 大人のひきこもり家族教室のご案内

今、「大人のひきこもり」や8050問題が社会問題となっています。

阿久比町社会福祉協議会では、大人のひきこもりに悩まれているご家族を対象に、「大人のひきこもり家族教室」を開催します。ひきこもりの仕組みなどを学ぶために、アメリカで開発された認知行動療法（CRAFT）の技法に基づいた治療プログラムを学んだり、座談会を予定しています。お気軽にご参加ください。

日時 令和4年2月24日(木) 13時30分～15時30分

場所 阿久比町保健センター（オアシスセンター） 3階集会室

参加費 無料

内容 ・CRAFT（コミュニティ強化と家族訓練）とは？
・座談会

講師 一般社団法人 あいち福祉振興会（愛知県生活困窮者自立支援事業委託事業者）

対象 大人のひきこもりのお子さんをもつご家族、本人
定員10名

※「大人のひきこもり」とは、義務教育以降の（15歳以上）の方で、就学や就労などの外との交流を避け、家族以外の他人との親密な対人関係を築かない状態が6ヶ月以上続いている状態としています。

※新型コロナウイルスの感染状況により講座が中止になることがあります。ご了承ください。

お料理や子どもの
支援にご興味のある方
大歓迎！



第2次阿久比町地域福祉計画推進事業「子ども食堂勉強会」を開催します

「子どもの貧困」が社会問題となっています。子どもの居場所としての「子ども食堂」がなぜ必要なのか、また知多半島内の取り組みを知っていただくことを目的に「子ども食堂勉強会」を開催します。

「最近子ども食堂ってよく聞くけれど、どんな内容なんだろう?」「料理を作るのが好きだけど何かできることないかな?」そんな方、ぜひお気軽にご参加ください。

日時 令和4年1月29日(土) 10時～12時

場所 阿久比町勤労福祉センター(エスペランス丸山ホール)

参加費 無料

対象 子どもの居場所や子ども食堂に関心のある方ならどなたでも

内容 ○「子どもの貧困と子ども食堂」

講師：日本福祉大学社会福祉学部 准教授 中村強士氏

○活動報告

東海市で2019年より活動を開始した「とまと食堂」さんの活動をお聞きします。

講師：とまと食堂 代表 深谷美子氏

定員 30名(申し込み順)

申込み先 阿久比町社会福祉協議会へ電話、FAX、Eメールにて

令和4年1月26日(水)までにお申込みください。

阿久比町社会福祉協議会 担当/加藤・守口

電話 48-1111(内線1523) FAX 48-4045

Eメール agui-sw@cac-net.ne.jp

※新型コロナウイルスの感染状況により講座が中止になる場合があります。ご了承ください。

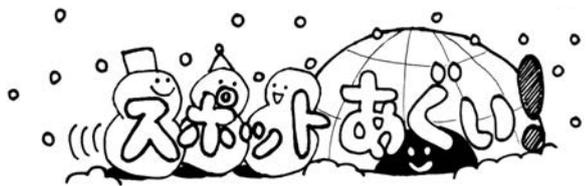


令和3年度ボランティア入門講座 「地域ねこ勉強会」を開催しました

12月4日(土) 阿久比町勤労福祉センターで、ボランティアをしたい方を対象に、令和2年10月にボランティアセンターに登録したボランティアグループ「あぐい地域ねこの会」を講師にボランティア入門講座が開催され、17人が参加しました。

講師より、野良猫の引き起こす様々なトラブルに対して、地域の皆さんと一緒に取り組む「地域ねこ活動」のお話を聞き、参加者の方の地域ねこ活動への理解を深めることができました。





このコーナーでは、毎回阿久比町で気になるボランティア、NPO、福祉施設の場所や活動のニュースをご紹介します。

傾聴ボランティア「モモの会」がお宅へお伺いします

阿久比町ボランティアグループ「モモの会」では、人と話す機会が少ないと思われる方々を対象に「傾聴ボランティア」活動を行っています。

みなさまのお知り合いに「傾聴ボランティアによる訪問活動があるとよいかな」という方がおみえになりましたらご紹介ください。

《傾聴ボランティアの活動内容》

- 主に一人暮らしの方、高齢者夫婦世帯でお住まいの方、ご家族とお話をする機会が少ない方、諸事情により閉じこもりがちの方、体の調子が悪く家から外へ出にくい方などのお宅へお伺いいたします。
- 活動時間は、1回、数十分から1時間以内です。
- 費用は、無料です。
- お聞きしたお話の内容は、他言いたしません。(守秘義務の厳守)
- 訪問時の、お茶やお菓子などのお気遣いは不要です。
※ご相談内容によっては、お受けできない場合がございますので予めご了承ください。
- 申し込みは、阿久比町社会福祉協議会へ電話でお問い合わせください。
電話 0569-48-1111 (内線1523 担当/横江)



(株)エネチタ社員の皆さんが清掃活動を行いました



11月24日(水) 阿久比町に本社を置く (株)エネチタ社員の皆さんが社会貢献活動として、マスコットキャラクターのエネチターとともに役場周辺の清掃活動を行いました。

阿久比町ボランティアセンターでは、企業の皆様の社会貢献活動を応援しています。掲載をご希望の企業様がありましたら、社会福祉協議会までお問合せください。

矢勝川堤防の彼岸花の球根の植栽活動を行いました

ボランティアグループ「矢勝川の環境を守る会」は、11月27日(土) 植地区評議員の皆さんと、彼岸花の球根の植栽活動を実施しました。

活動13年で地元の皆さんと初めて一緒に活動をし、楽しく汗をかいていました。

来年も彼岸花が満開になることを楽しみにしています！



福祉基金で住みよい福祉のまちづくり

福祉基金は、皆様の善意のお金を大切に積み立て、その利息を福祉の事業に使い住みよいまちづくりを進めようとするためのものです。



善意をありがとう

令和3年10月から令和3年12月までに下記の方々よりご寄付いただきました。紙上にて厚くお礼申し上げます。

福祉基金寄付

氏名	寄付内容		備考
	区分	金額	
阿久比町グラウンドゴルフ協会様	現金	1,700	町スポーツフェスティバルホールインワン基金
匿名様	現金	100,000	
半田遊技業組合様	現金	50,000	福祉支援

氏名	寄付内容		備考
	区分	金額	
阿久比高校インターアクトクラブ様	現金	3,400	文化祭売上金
阿久比町いきいきクラブ連合会様	現金	3,101	いきいきクラブ連合会グラウンドゴルフ大会ホールインワン基金
知多友の会様	現金	10,000	福祉支援

人権・行政・心配ごと相談

毎月第1・第3木曜日 9:30~11:30
中央公民館308号室

こころの悩み相談室

(要予約 社会福祉協議会)
毎月第4火曜日または第3火曜日
14:00~16:00
オアシスセンター2階会議室

パートヘルパーを募集します!

- 仕事内容 高齢者や障がい者の家庭を訪問し介護する仕事
- 資格 介護福祉士、ヘルパー2級以上、初任者研修終了者、看護師のいずれかの資格をお持ちの方
- 勤務時間 月曜日~金曜日、8:30~17:15の間、週に1日、1時間からでも可
- 賃金 時給 1,000円

電話 0569-48-1111 (内線1523) 担当/品川



先日、初めて大腸がんの内視鏡検査を受けました。年一回の健康診断を受け、その後も家と職場を往復する毎日を過ごしていると、健康診断の結果が届いたので開けてみると大腸がんの検査を受けるよう書いてありました。まさかの結果に何かの間違いではないかと名前をもう一度見ましたが、紛れもなく自分の名前が書いてありました。

身内になんかになった者がいないのに、自分になんかの疑いがあるのはショックでしたが、病院に行き医師より検査の説明を受け、前日と当日に飲む下剤をもらい家に着いた時は気が重く夕食もおいしくなかつたです。検査当日は腸の中を空にするため、朝四時に起き下剤を飲んでトイレに行く事を繰り返して、検査前にはくたびれてしまいました。

病院に行き内視鏡を体に入れ、検査はモニターで腸の中を見ながら行いましたが、腸の中をカメラが動いているのは不思議な感覚でした。医師に異常はないと言われ、ほっとすると共に健康のありがたさを実感しました。

T・S

雑記

資源を大切に! この用紙は再生紙を使用しています。



編集発行/社会福祉法人 阿久比町社会福祉協議会

〒470-2212 阿久比町大字卯坂丸の内85番地 電話 (0569) 48-1111 内線 1523・1524 ホームページアドレス <http://www.agui-shakyo.or.jp>